



《めざす子ども像》

- ▶ 自らすすんで学ぶ子ども
- ▶ 互いを認め合い自分と相手を大切にする子ども
- ▶ 健康や安全に気を付ける子ども

令和6年12月23日 発行者 柴山 敬  
<http://www.hokuei.obihiro.ed.jp/>

冬休みでも「ワンランク上の自分」へ  
 自分の生活をコントロールしてみよう！

明日から16日間の冬休みです。2学期は修学旅行や宿泊学習、児童会役員選挙、学習発表会などたくさんの行事がありました。また、9月にはPTAや地域団体による「北栄こども祭り」もありました。こうした行事が子供たちにとって学びの場となり、思い出の多い機会になったことについて、保護者や関係の皆様のおかげによるものと感謝しています。ありがとうございます。



修学旅行は6年生にとって思い出深い行事だったことでしょう。特に自主研修では、大人の手を離れ、自分たちで計画を立て実行するという貴重な経験をしました。グループ内でメンバーの希望や考えなどをまとめることに難しさを感じることもあったことでしょう。学級だよりで紹介された作文を読むと、ほとんどの6年生が「達成感」を得た様子で大変うれしく、頼もしく思いました。



児童会役員選挙の立会演説会も印象的でした。

会長や副会長など6人のポストに22名が立候補。どの候補者の言葉にも北栄小学校のために貢献したいという意気込みを感じました。候補者の中には、「一歩踏み出し行動しよう！」と決意して立候補した児童もあり、その勇氣ある姿勢に頼もしさを感じ、大変うれしく思いました。

このほか、5年生の宿泊研修では、実験や観察による学習だけでなく、集団行動や公共施設でのマナーの大切さを学ぶなど有意義な機会になりました。また学習発表会については、学校便り14号でご紹介しましたが、それぞれの児童が練習成果を発揮し「ワンランク上の自分」に大きく近づいたように思います。

「よっし！」とつぶやき「一歩踏み出す」

『よっし！』というつぶやきは、「ワンランク上の自分」への弾みになるものです。「ワンランク上の自分」になることは、自分をコントロールできるようになることでもあります。冬休み中は、起きる時間や寝る時間、勉強や遊び、そしてゲームやスマホの時間など、子供たちには家庭で

日	曜	令和7年1月の行事予定
10	金	始業式 冬休み体験発表会
14	火	登校指導①
15	水	Sアップ
16	木	児童会⑨
17	金	登校指導②
18	土	北栄元気クラブ
22	水	Sアップ 冬道教室
28	火	朝会
29	水	Sアップ

の約束事を大事にしなが、自分の行動をコントロールすることを試みてほしいと思っています。

特に「やりたくないな」「面倒だな」などと思っているときこそチャンス！子供が「よしっ！」とつぶやき、「一歩踏み出し行動」できるようご支援いただきますようお願いいたします。

こうした経験（成功と失敗）の積み重ねが、自信となり、子供の主体性を育むことにつながります。将来、「無理」「できるはずがない」と思うことに対しても、必要な場面でしっかりと向き合う姿勢を培っていけるものと確信しています。

## 第2回コミュニティ・スクール協議会 上半期の反省と下半期の取組を協議

11月21日に第2回コミュニティ・スクール協議会が開催されました。これまで実施された取組の報告に併せて、上半期の学校評価の結果をもとに教育課題について協議が行われました。



取組については、長期休業中に子どもたちに規則正しい生活リズムを身に付けさせる「ラジオたいそうの集い」や学習をサポートする「学習スタジアム」、体力向上をねらいとして浦幌町「うらほろマラソン」の主催者と連携し、事前チャレンジやマラソン大会に出場したりする「ファン・ランニング」、そして地域団体が連携協力して取り組む代表的な行事でコロナ禍を経て5年ぶりに開催された「北栄こども祭り」など、それぞれの児童の参加状況や運営の課題等について報告がありました。どの取組でも運営等に参画する人材

## 卒業式における6年生の服装

関係保護者の皆様へのお願い

「卒業式」は教育課程（学校の教育計画）の特別活動「儀式的行事」に位置づけて実施されます。学習指導要領でも「学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるような活動を行うこと」とされています。「卒業式」は授業の一環であり、卒業生が中学校への期待やイメージをもてるようにするための大切な学習です。

こうしたことから、例年のこととなりますが、本校では卒業式における6年生の服装について「進学予定の中学校の制服」が望ましいと考えております。

つきましては、改めて「卒業式」の趣旨をご理解いただき、当日の6年生の服装についてご配慮いただきますようよろしくお願いいたします。

を求めつつ、今後も実施する方向で考えが示されました。

また、学校便り13号でお知らせしましたが、学校評価の結果については、児童が安心して学校生活を送っていることや、学習に主体的に取り組んでいることなど評価の高かった内容のほか、児童の地域行事への参加が少ないことや、ゲームやスマホの使用について家庭でのルール徹底が十分でないことなどが説明されました。こうした結果をもとに課題解決の視点で協議が進められ、児童の地域行事への参加については、「北栄こども祭り」を中心に行事を活性化させること、ゲームやスマホの使用については、PTA総会や参観日等、保護者が集まる機会を活用して啓発することなどのアイデアが出されました。

このほか、グラウンドに設置されているブランコの老朽化への対応についても意見が交わされました。